

日中はまだまだ残暑厳しい日々ですが、朝・夕の風には秋の気配が感じられるようになりました。1日の気温差が大きくなる時期は体調をくずしやすいときです。毎日の体調変化にご注意ください。

## 感染症情報

### 三光保育園・分園・幼稚園感染症情報(8/1~)

突発性発疹、手足口病、マイコプラズマ肺炎の報告がありました。

お子さまがいつもと違う様子のはきは、体調不良の前兆の場合があります。子どもはまだ体調を上手く表現することが難しいため、気になることがある場合は登園時か連絡帳で職員にお知らせください。

子どもたちの活動が増えてくるにつれ、疲れも出ますので、ご家庭でも栄養と休息を十分とれるよう、ご協力をお願いいたします。

### 佐賀県 感染症の上位疾患(9/2~9/8)

- 1位 : 新型コロナウイルス感染症
- 2位 : 手足口病(マイコプラズマ肺炎)
- 3位 : A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(手足口病)

※( )内は佐賀中部保健所管内の疾患順位

【手足口病】患者報告数はやや減少していますが、流行発生警報は継続中です。タオルの共用を避け、手洗いの励行で感染予防に努めましょう。

9/11付公開：佐賀県感染症情報センターHPより

【マイコプラズマ肺炎】

症状：咳・発熱・頭痛、激しい咳が数週間に及ぶこともある。合併症を伴うこともあり、重症化することもある。

登園の目安：適切な抗菌治療を開始してから、病状が回復し、集団生活に支障がない状態

## 秋の保健行事予定

### 尿検査(対象：保育園・分園・幼稚園ひよこ組)

提出日：10/30(水)朝

(10/28(月)に容器等を配ります。) ※採尿袋が必要な場合は事前に園で購入してください。

### 内科健診・歯科検診(対象：保育園・分園・幼稚園ひよこ組)

保育園・幼稚園ひよこ組

分園PINO

内科：10/31(木) 9時30分~

内科：11/11(月) 10時~

歯科：11/20(水) 9時~

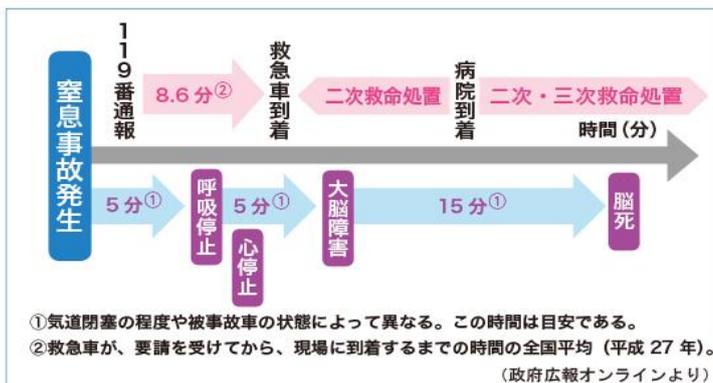
歯科：11/19(火) 9時30分~

※健康診断は、必ず受けるよう法律で定められています。健診当日は病気以外での欠席は控え、健診を受けましょう。

### 9月9日は救急の日!

## 意識や呼吸がないときは!!

呼吸や心臓が止まって血液循環が途絶えると、人間の細胞は次々に壊れて死んでいきます。救急車到着までの時間は平均約8分ですが、何もしない時間が長ければ長いほど救命率は下がり、命が助かっても脳などに深刻なダメージが残ることがあります。



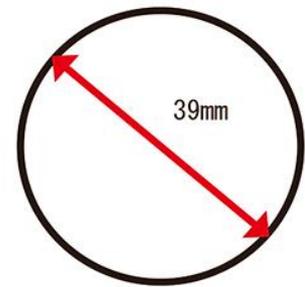
救命の可能性は時間とともに低下します。救急隊の到着までの短時間であっても救命処置をすることが重要になります。

### 子どもがぐったりしていたら……

- 1 意識を確認する 肩を軽くたたきながら大声で名前を呼ぶ。
- 2 助けを求める 周囲の人に大声で救急車の手配を頼む。
- 3 呼吸の確認 片手で子どもの頭をそらせ、もう片方の手の指2本(乳児は1本)であご先を上げる。呼吸音や胸・腹の動きで呼吸を確認。  
▶呼吸なし(あえぎ呼吸含む)の場合 ↓
- 4 心臓マッサージと人工呼吸 心臓マッサージと人工呼吸!!



# 家の中の事故を防ぎましょう



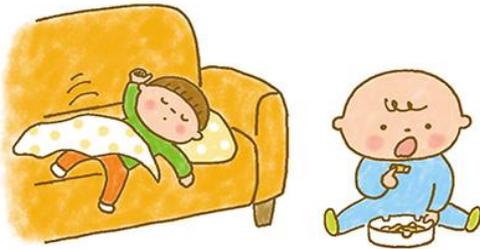
0~6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所です！家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。

## 小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

### リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

### キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

### 浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したときにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

### ベランダ



台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

## 子どもの誤飲したもの別

### 緊急度

非常に多い誤飲事故。飲んだものによって緊急度が異なります。

	<b>すぐに救急車！</b>	* 灯油 * ベンジン * 除光液 * 農薬 * 殺虫剤 * ネズミ駆除剤
	<b>急いで受診</b>	* ボタン電池 * 鋭利なもの * 磁石 * 洗剤 * タバコ * 薬 * コイン * おもちゃ など
	<b>様子を見て診療時間内に受診</b>	* 少量のインク * クレヨン * 絵の具 * 化粧品 * 石けん など

基本的には吐かせず、受診する際には誤飲したものと同じものを持参しましょう。

ただし、呼吸が苦しそうだったり、顔色が悪い、けいれんなどの症状があれば、飲んだものに限らず救急要請してください。

小さな子どもは、まだ何か危険を予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が安全な環境を整えてあげましょう。